

Newsletter

 **日本教育情報学会**
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

No. 9

1986. 12. 12

事務局：〒158 東京都世田谷区等々力6-39-15 産業能率大学企画室内

日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel (03)-724-8993

教育情報連合研究発表大会 開催報告

去る10月18日、19日、東京・文化学園において、日本教育情報学会、学習情報研究所、全国教育研究所連盟の共催による教育情報連合研究発表大会が開催された。

10月18日は、全教連CAIプロジェクトの第2回全国研究発表大会であり、CAIプロジェクト実験校20校による研究発表が行われた。

10月19日は日本教育情報学会としては初の研究発表大会であり、午前の部は、学習ソフト、教育情報流通、経営情報管理・研修、専門学校教育、課題研究～学習支援のためのパソコンシステムへのそれぞれのテーマ別に8分科会にわかれ、約90名による活発な研究発表が行われた。

また、同日、専門学校教育に関する研究発表が行われたのと同時に、専門学校教育研究部会が発足した。

午後は全体会として、大沼 淳 大会委員長より挨拶があったあと、記念講演として、木田 宏 日本教育情報学会会長・日本学術振興会理事長より「情報化社会と教育の課題」、長尾 真 京都大学教授より「人工知能とコンピュータ」、芦葉 浪久 国立教育研究所教育図書館長より「CAIとこれからの課題」、とそれぞれのテーマについて講演が行われた。

また、学習情報研究所、日本教育情報学会 学校教育情報部会の主催による第2回教育ソフトコンクールの表彰式、あわせて入賞作品の展示も開催された。

このたびの研究発表大会における参加者は約350名にのぼり、小・中・高校の教育現場に携わっている方が多い中でも、各企業の学習ソフト開発担当者、教育担当者の熱心な姿も多くみうけられたことが特徴的であった。

(なお、研究発表分科会の発表要旨に関しては、後ほどその概要を学会誌に掲載する予定。)

—— 教育情報データベース作成講習会 ——

教育で利用されるデータベースについて、次のように講習会を開催しますのでご案内いたします。

今回は、教材、学習指導、教育実践、文献、学習資料等の教育で利用されるデータベースの作成・流通、利用法の実習を行い、パソコンを用いて教育現場で実際に活用できることを目的とした講習会を下記のように開催いたします。

主 催 : 日本教育情報学会学校情報部会 学習情報研究所
学習システム研究会

日 時 : 昭和62年1月17日(土)、18日(日)

場 所 : 学習情報開発センター
岐阜市栄新町2丁目49番地(服部ビル2F)
学習システム研究会内

定 員 : 30名(参加者多数の場合は次回にまわさせていただきます。)

講習・資料費 : 会員 20,000円(日本教育情報学会, 学習情報研究所)
非会員 25,000円

申し込み方法 : 葉書にて下記までお申し込みください。

〒502 岐阜市栄新町2丁目49番地 服部ビル2F
学習システム研究会内 学習情報開発センター

締め切り : 昭和61年12月末日

(プログラム)

1月17日 (土)

10:00 ~12:00

教育情報データベースの利用

学習情報研究所員

各種教育情報の管理・流通のために作成されたデータベースの説明と、パソコンによる文献・教材等の各種データベースの検索処理の実習。

12:00 ~13:00

昼食

13:00 ~14:00

教育関係データベースの構築の方法

後藤忠彦 (岐阜大学)

教材データベース, 教育実践, 学校経営用のデータベース, 文献データベース等の記録項目, データベース作成の方法と, その注意点等の管理・運営に必要な事項を具体例をもって解説。

14:00 ~15:30

データベースへの資料入力の方法の解説と実習

学習情報研究所員

教材・文献等の情報をどのようにデータベースに入力するのか, その方法の説明とパソコンを用いた実習。

15:30 ~17:00

教材・文献等の管理・検索のためのシソーラスの作成

深谷 哲 (大阪大学)

データベースに記録された資料を検索するためのキーワードの設定と, それに必要なシソーラス構成の方法を実例をもって解説。

1月18日 (日)

9:30 ~10:30

学習情報処理システムの構成

永野和男 (鳴門教育大学)

教材, 学習反応等の各種学習に関する情報を有効に利用するためのデータベースの構成と, それを活用するために必要な処理システムについて今までの研究実践をもとに解説。

10:30 ~12:00

学習情報のネットワーク構成の解説と実習

学習情報研究所員

教材データベースを通信, フロッピー等を用いて流通させる方法とそのパソコンを用いた実習。

- 12:00 ~13:00 昼食
- 13:00 ~15:00 教材データベースを用いた学習ソフトの作成 (実習)
～CAIソフトの作成～ 学習システム研究会・会員
教材の一例として、学習素材、学習特性等をもった学習
情報データベースを用いて、CAIの学習ソフトを作成
する方法とその実習。
- 15:00 ~16:00 学習支援へのデータベースの利用
後藤忠彦 (岐阜大学)
学習指導の課題を解決するために、また、より豊かな学
習環境を構成するために、データベースをどのように利
用するかを実践例を用いて解説。
-

～お知らせ～

日本教育情報学会産業教育情報研究部会、産業能率大学総合研究所では、現在共同で下記のように企業内教育に関する調査・研究を進めております。調査がまとまり次第、学会誌への掲載、あるいは報告会の開催等を実施し、会員の皆様にご利用いただけるように進めていきたいと考えています。

企業内教育について実施してほしい調査、欲しい情報等ご意見、ご希望がございましたら、事務局までご一報くださいますようお願いいたします。

- ・ 女子社員の戦力化とマナー教育実態調査
- ・ 昇進・昇格制度等に関するアンケート調査
- ・ 自己啓発援助制度に関する実態調査 (予定)

年末・年始の運営について

運営本部事務局は、12月27日より1月4日まで業務をお休みさせていただきますのでご了承ください。